



地域公共交通の利便性向上と 多様な移動支援策の推進について

堀口 きく枝 議員



質問 地域公共交通は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための重要な社会基盤です。この3年間で514人の方が免許を返納され、ますます路線バスやタクシーを利用する方が増えてきます。路線バスの利便性の向上に関して、バス利用時のキャッシュレ

ス決済等のデジタル技術活用について、また、バス停への屋根設置など環境整備の考えを教えてください。

答弁 交通系ICカード等を用いたキャッシュレス決済を導入することで利用者の乗降時間の短縮や乗務員の負担軽減などのメリットが考えられる一方、維持費

用等がかかることが考えられます。他の地域の先行事例を参考に、コストや効果を含め研究していきたいと考えています。また、バス待ち環境については、バス停の利用状況や利用者の声を勘案し、改善に取り組んでいきたいと考えています。

要望 キャッシュレス決済導入を推進すること、また、病院前やスーパー前のバス停について、可能な所には屋根や椅子を設置するよう要望します。

質問 タクシー券の利用について、助成の距離や地域による負担格差の現状を教えてください。

答弁 本年7月末で、全体の利用件数のうち約30%の利用者に500円を超える助成が行われており、利用者の負担が軽減されていると考えています。

要望 今後、さらに利用者や利用枚数が増えるように、1回の利用についての助成金額の拡充を要望します。

質問 定住促進通学支援の

内容を教えてください。

答弁 東京都への一極集中の是正、若者の人口流出の抑制、本市への定住促進を目的とし、東京都または東京都を経由する地域に通学する方に、2万円を上限に支給するものです。

質問 東京都を経由せず通学する学生にも通学支援金の支給を要望したいと思いますが、市の考えは。

答弁 学校卒業後の定住の効果を検証した上で、支援金拡充を検討していきます。



義務教育における今後のICT教育についてと 地域コミュニティの防犯対策での課題について

岩上 博志 議員



質問 学校教育の現場における生成AIについて、情報リテラシーとしてのどのように学習しているのか伺います。

して理解を深め、指導体制を整えている段階です。

質問 児童生徒の知的好奇心を高めるために、ICTをどのように活用しているのか伺います。

答弁 端末上でグループや学級全体に画面共有を行い、多様な意見や視点に触れることで、「もっと知りたい」

「さらに深めたい」という新たな疑問や、好奇心を引き出すような工夫を行っています。

質問 「里沼学習」における小中学校9か年の学びの中で、ICTをどのように活用しているのか伺います。

答弁 探求の初期段階における情報収集やシンキングツールを用いた情報の整理・分析を行い、スライドやPRポスター、環境パンフレット等の成果物としてまとめる学習活動など、発

達段階に応じた活用を進めています。さらに、オンラインを活用した学校間や地域、企業との交流・発表の場を通じ、児童生徒が自らの学びを他校の児童生徒や地域社会に向けて発信すること、ふるさとへの愛着や誇りを深めています。

要望 シティプロモーションとしてのPR動画等に、児童生徒が作成したプレゼンや、動画を登用することについて検討してほしい。

質問 行政区や自治会が負担している防犯灯や防犯カメラの電気料金について、補助金や全額公費負担といった方策があるのか伺います。

答弁 行政区の運営、活動等を支援する目的で区助成交付金を交付しています。防犯灯の電気料についても広義においては行政区の運営、活動等に関わる経費であることから、各行政区の会計の状況を勘案しながら、必要性を検討していきたいと考えています。